

～経絡からは見えないツボの法則～

人体の連動を利用した鍼灸臨床の実際

令和4年

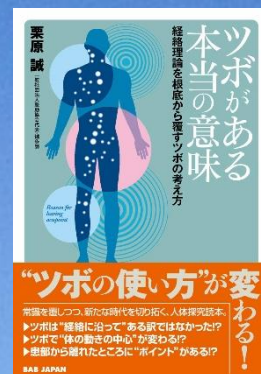
6月5日（日） 11:00-16:00

会場：山口県セミナーパーク

第一部

(理論編)

- ①なぜ経絡では動きを整えられないのか
- ②人体に張り巡らせている張力を探し出せ
- ③少数の鍼だからこそ効果を引き出せる



第二部

(実践編)

解説付きデモンストレーション

講師：栗原誠先生

一般社団法人 整動協会 代表



主催：(公社)山口県鍼灸師会

共催：一般社団法人 整動協会 / 株式会社 活法ラボ

詳しいお申込み方法は裏面をご覧ください



栗原誠先生

経穴は気の流れを整え内臓機能を調整する要処です。

バックボーンとなる経絡理論が臓腑を軸に構成されているためです。経筋という概念もありますが、経絡理論の一部を間借りしたような様相を認めません。臨床では、鍼灸施術をした直後に肩や腰の動きが改善し、同時に痛みも軽減することが少なくありません。

こうした現象を経絡理論で説明しようとする、密度の粗いものとなってしまいます。

そこで望まれるのが、筋肉や骨格を調整する運動系の理論です。

今回紹介する整動鍼は、経絡理論からいったん離れ「人体の動き」に着目し、ツボの働きを整理したものです。この新しい視点を取り入れることで、鍼灸の可能性が飛躍的に広がります。一緒にその感動を分かち合いましょう。

セミナー申し込み

会場 山口県セミナーパーク

参加費 会員：3,000円 一般：5,000円
(会場でのお支払いとなります)

申し込みはメールでお願いします。

yamaguchi89jimukyoku@gmail.com

担当：(公社)山口県鍼灸師会 学術部 宮本